

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東 1 - 14 - 11
ヒロエンジニアリング(株)内
TEL (03) 5812-4111
FAX (03) 3833-6674
MAIL toukankyo@car.ocn.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

- 第 46 回通常総会報告
 - ・ 第 46 回通常総会議事録
 - ・ 総会資料
- 第 46 回通常総会後の懇親会報告
- 2023 年度 新任者教育セミナー報告
- 役員の役割分担
- 関係機関・団体の動き
 - ・ 首都圏環境計量協議会連絡会
 - ・ (一社)神奈川県環境計量協議会
 - ・ (一社)埼玉県環境計量協議会
 - ・ 千葉県環境計量協会
 - ・ (一社)日本環境測定分析協会
- 東環協からのお知らせ
 - ・ 2023 年度これからの主要行事予定
 - ・ 事務局からのお知らせ

第 46 回通常総会報告

2023 年 5 月 9 日(火)、第 46 回通常総会がアルカディア市ヶ谷 4 階「鳳凰」で開催されました。来賓には、(一社)日本環境測定分析協会 副会長 小野寺 明 様、同 副会長 清水 重雄 様、同 関東支部長 佐藤 隆 様にご臨席賜りました。正会員 23 社の皆様にご出席いただき、22 社の委任状と合わせて定数を満たしていることから、定刻の 16 時 30 分、木村副会長が総会の成立を宣言しました。会則第 22 条に則り、議長には平賀会長が選出され、五十嵐副会長により昨年度の事業報告及び収支決算報告並びに今年度の事業計画・予算案の説明が行われました。総会における各議案の審議は滞りなく進行し、第 1 号議案から第 4 号議案まで全ての議案が承認されて無事終了いたしました。(小野寺 明 様、佐藤 隆 様の役職は開催時のものです。)

東環協 平賀会長の挨拶



東環協 平賀会長

皆様、只今ご紹介いただきました東環協会長を仰せつかっております平賀でございます。総会に先立ちまして、本日は(一社)日本環境測定分析協会様から小野寺副会長、清水副会長及び関東支部の佐藤支部長にご臨席いただきまして御礼申し上げます。(一社)日本環境測定分析協会様とは、様々な交流をしながら分析業界の発展に努めてきているというのが現状です。また、昨今は東環協においてもこのように対面でお会いする行事を増やしてきており、皆様と親睦を図れるようになってきていると思っております。一方で東環協の中では、若い力や若いアイデアが不足しているという現状があります。会員の中でも若い人たちが活発に意見を言えるような運営をしていかなければならないと考えております。昨年は従来の活動を行ってきましたが、その先に発展させる部分が少し欠けていたのかと思います。そのため、今年は 1 年間かけて従来の活動に加えて外部への発信を強化していけたらと思っております。

また、本日は第 46 回通常総会におきまして、2022 年度の事業報告と収支決算報告並びに 2023 年度事業計画及び予算案を審議していただきます。会員の皆様には活発なご意見・ご検討をお願いいたします。簡単ではございますが、会長の挨拶とさせていただきます。

どうも有難うございます。



《総会の様子 I》



《総会の様子 II》

東京都環境計量協議会
2023年度（第46回）通常総会
議 事 録

日 時 : 2023年5月9日（火） 16:30～17:10
場 所 : アルカディア市ヶ谷 4階「鳳凰」（東京都千代田区九段北4-2-25）

出席者 : 45 社（うち、総会当日までに到着分の委任状 22 社）

木村副会長が16時30分、正会員総数59社中45社の出席があり、会則第19条により総会が成立することを宣言した。

総会を開催するに当たり、最初に平賀会長が挨拶を行った。

会則第22条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に会長は議事録署名人として、成友興業（株）根岸 一步氏と（株）日本シーシーエル 濱砂 眞澄氏を指名し、両氏はこれを承諾した。

議 事

1. 第1号議案「2022年度事業報告承認の件」及び第2号議案「2022年度収支決算報告承認の件」について

五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した。引き続き、小柳監事が、2022年度決算書について詳細に監査した結果、収支状況を正しく示していると報告した。第1号議案及び第2号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

2. 第3号議案「2023年度事業計画（案）審議の件」及び第4号議案「2023年度収支予算（案）審議の件」について

五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した後、第3号議案及び第4号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

以上で第46回通常総会の議事が終了し、17時10分、木村副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上

議 長 平賀 積 善 

議事録署名人 根岸 一步 

議事録署名人 濱砂 眞澄 

2023 年 度

第 4 6 回
総 会 資 料

東 京 都 環 境 計 量 協 議 会

議 案

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| 第 1 号 議 案 | 2 0 2 2 年度 事業報告承認の件 |
| 第 2 号 議 案 | 2 0 2 2 年度 収支決算報告承認の件
(監査結果報告) |
| 第 3 号 議 案 | 2 0 2 3 年度 事業計画（案）審議の件 |
| 第 4 号 議 案 | 2 0 2 3 年度 収支予算（案）審議の件 |

はじめに

新緑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素より当協議会の事業活動につきまして、多大なご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

ここ数年、世界的な原油・資源・穀物等の価格高騰や、円安の大幅な進行に伴う輸入コストの増大により国内では物価上昇が続いてきました。直近では一服感があるものの、今後も物価は極めて不透明な状況となっています。このため、食料品等の値上げや、電気、ガスといったエネルギー価格が引き続き上昇しており、家計を大きく圧迫しています。また、コスト上昇に対応した価格転嫁が十分に出来ていない企業においては収益が圧迫されるなど、経済の押し下げ材料ともなっています。

一方で、深刻化する地球温暖化対策としての脱炭素及びペーパーレス化、オンライン会議等に代表されるデジタル化がもたらす業務効率化によるコスト削減、その一歩先にある DX に関連した事業や設備投資が今後の経済をけん引して行くものと期待されています。

さて、当協議会における 2022 年度の活動では、次世代の環境計量技術のプロフェッショナルを育成・創出するための教育事業に重点を置いて参りました。後述の事業活動報告にもありますように新任者教育セミナー、環境測定技術事例発表会、技術研修会といった若手技術者のための教育事業を展開いたしました。これら事業の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ながらの判断ではありましたが、極力対面形式で実施いたしました。その甲斐もあり、会員の皆様にも一定の評価をいただけたのではないかと考えております。

当執行部といたしましては、昨年度の経験を活かしながら会員の皆様との連携を益々深めて行き、若手技術者の育成事業、皆様の交流の場の提供等に引き続き注力して参ります。今年度も会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

2022年度 事業報告

2023年3月31日現在の会員数及び役員は次のとおりです。

(会員数)

正 会 員 59 社 (退会 2 社)

賛助会員 21 社

合 計 80 社

(役 員)

会長 1 名、副会長 2 名、理事 8 名、監事 2 名

1. 会議の開催

(1) 総 会

2022年度(第45回)通常総会は、2022年5月11日 16時よりアルカディア市ヶ谷6階「伊吹」にて新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら対面形式で開催いたしました。

開催日時：2022年5月11日(水) 16:00～16:50

開催場所：アルカディア市ヶ谷「伊吹」

出席者：正会員45社(委任状22社を含む)

(2) 理事会

協議会運営のため、全役員による理事会(リモート参加を含む)を開催しました。

理事会：5回開催

(2022年5月11日、7月5日、10月26日、12月14日、2023年2月6日)

(3) 委員会会議

技術委員会、業務委員会の各委員会について、担当理事及び委員による会議を必要に応じて開催しました。

2. 事業活動

当協議会の目的を達成するため、セミナー、発表会、研修会などの各種事業を企画、開催しました。

(1) 技術関係

① 新任者教育セミナー

『新任者教育セミナー』は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、過去2年間時期をずらして開催してきましたが、今年度は本来の時期である6月に首都圏環協連（東環協、神環協、千環協）合同で開催することができました。ただし、従来の集合形式での開催はいまだ時期尚早との判断から、昨年と同様にオンライン形式が採用されました。

開催日時：2022年6月16日（木）、17日（金）[両日とも13:30～16:50]

開催方式：（一社）日本環境測定分析協会本部よりオンライン開催

（YouTube ライブ配信、及び ZOOM ミーティング方式）

参加者：76名（うち、東環協：7社25名）

【1日目 16日（木）】

・講義1（13:45～15:00）

「環境計量の仕事とは」

講師：津上技術士事務所 津上 昌平 氏

〔概要〕

環境問題の歴史的背景や最近の環境関連トピックスに始まり、環境関連法規制の概要と環境測定/分析との関わり、計量法と事業登録制度、国際規格、環境関連の取得すべき資格の説明など多岐にわたる内容でした。

・講義2（15:15～16:30）

「労働安全衛生」

講師：イー・サポート高円寺 菅原 昇 氏

〔概要〕

測定業務における安全管理や試験室の安全衛生管理等安全衛生の重要性や、労働災害の発生状況・原因について説明がありました。また、化学物質と労働安全衛生マネジメントシステムについての解説もしていただきました。

【2日目 17日（金）】

・講義3（13:45～16:30）

「精度良い測定のために」

（1）サンプリングの基礎、（2）化学分析、機器分析、（3）精度管理

講 師：（株）佐々木環境技術事務所 代表取締役 佐々木 克典 氏

〔概要〕

化学分析（環境測定に関する化学分析の基礎）や機器分析（機器分析の基本的事項、主な機器分析の原理）についての説明及び精度管理（測定値の管理、データの取扱い）の重要性について説明いただきました。

【受講者アンケート】

新任者教育セミナー終了後の Web アンケートでは、36 名の受講者から回答をいただきました。参加者の年齢は「20 歳未満」または「20 代」が 86.1%を占め、担当業務では「水質、土壌関係の分析」が最も多く半数以上を占める結果となりました。また、講義内容についての設問では、どの講義も 85%以上の参加者が「大変理解できた」または「理解できた」と回答していました。

② 研修見学会

新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度は『研修見学会』の開催を断念いたしました。

③ 環境測定技術事例発表会

昨年度は ZOOM ミーティングによるオンライン形式により開催しました環境測定技術事例発表会ですが、今年度は実に 3 年ぶりに全参加者が会場に集合し対面形式にて開催することができました。来賓には東京都環境局、東京都計量検定所、（一社）日本環境測定分析協会、大阪環境測定分析事業者協会から計 8 名にご臨席いただきました。

開催日時：2022 年 11 月 8 日（火） 12:50～17:00

開催場所：アルカディア市ヶ谷「大雪」

参 加 者：77 名

（来賓 8 名、発表者 6 名、参加者 24 社 46 名、協賛企業 10 社 17 名）

④ 技術研修会

『2022 年度 技術研修会』は、感染防止に十分注意を払った上で会場参加型により開催しました。

開催日時：2023 年 1 月 24 日（火）15:40～16:50

開催場所：アルカディア市ヶ谷「穂高(西)」

講 演：「環境分析の組織運営における課題と対応」

講 師：(一社)日本環境測定分析協会 水質・土壌技術委員会

委員長 近野 良哉 様(東京都環境計量協議会 監事)

概 要：本講演では「環境分析の組織運営における様々な課題」「人材育成」「品質マネジメントシステムの構築・運用」という 3 つの内容について講義がありました。

参 加 者：50 名（会員 24 社 42 名、協賛企業 4 社 6 名、来賓 2 名）

⑤ 技術交流

4 月 27 日に大阪環境測定分析事業者協会（大環協）が主催する「環境測定技術事例発表会」に参加し、東環協からも交流講演を行い技術交流を深めて参りました。

また、11 月 18, 19 日には(一社)福島県環境測定・放射能計測協会主催の「福島被災地視察」にも参加しました。3.11 震災後の福島第一原発を始めとする福島県内の復興の状況を視察し、他の参加者と意見交換をして参りました。

⑥ 大環協主催による精度管理共同実験

精度向上を目的に、「精度管理共同実験」（主催：大環協）への参加を当協議会会員にも呼び掛けました。東環協からの参加会員数は 6 社でした。

(2) 業務関係

① 会員名簿

2022 年 8 月に会員名簿を発行、会員及び都内自治体に配布しました。

② 新春賀詞交歓会

『2023 年 新春賀詞交歓会』は、感染対策をした上で立食形式により開催いたしました。当日は、会員企業 21 社 (45 名)、協賛企業 6 社 (9 名)、来賓 5 名、合計 59 名と多くの方々にご参加いただきました。

開催日時：2023 年 1 月 24 日 (火) 17:00～

開催場所：アルカディア市ヶ谷「大雪」

③ 首都圏環協連関連

各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換を行いました。

1) 首都圏環協連委員会：3 回開催

(2022 年 6 月 8 日、12 月 6 日、2023 年 2 月 7 日)

2) 2022 年度 環境計量証明事業団体合同研修会

開催日：2022 年 8 月 9 日 (火) (リモート併用で開催)

テーマ：(1) 県単活動報告、自治体との災害防止協定に関する活動内容などについて

(2) 価格高騰している薬品・機材・エネルギー等 今後の環境調査費用を今！考える

参加団体：16 団体 [首都圏環協連 (1 都 3 県)、北海道、福島県、群馬県、新潟県、長野県、愛知県、大阪府、滋賀県、石川県、福岡県、横浜市、堺市]

④ 親睦ゴルフ大会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、本年度は開催中止としました。

(3) 広報関係

① 東環協ニュース

東環協ニュースを3回発行しました。

第179号：2022年 6月 30日

第180号：2022年 12月 23日

第181号：2023年 3月 15日

② ホームページ

ホームページでは、各種行事のご案内や東環協ニュースを掲載しています。
また、環境省、経済産業省を始め、関係省庁等の情報を取りまとめ、毎月1回の更新を実施しました。

③ 都民計量のひろば（東京都計量検定所関連）

東京都では、都民の方々に楽しみながら計量制度への理解を深めてもらうことを目的として、毎年11月1日の計量記念日に「都民計量のひろば」をイベント形式で開催しています。

今年度も昨年と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特設ページにWeb版「都民計量のひろば2022」を2か月間にわたって開設しました。

テーマ：メインテーマ「くらしと計量」

サブテーマ「探してみよう！くらしの中のいろんな計量」

日程：2022年10月16日（日）～12月15日（木）

場所：（一社）東京都計量協会のホームページ内の特設サイト

主催：都民計量のひろば実行委員会〔構成団体 東京都計量検定所、
（一社）東京都計量協会、東京都環境計量協議会他、計18団体〕

東環協のページでは、環境と計量のコーナーに「計量証明と計量証明事業者制度」「環境と計量について」「海洋プラスチックごみ汚染問題」のコンテンツを掲載いたしました。

④ 東環協メール情報サービス

電子メールによる情報提供を10件（No.340～No.349）実施しました。

(4) 官公庁その他に対する協力

①「令和4年度 災害時アスベストばく露・飛散防止研修会」への協力

東京都環境計量協議会は、2020年9月10日付で「災害時における石綿モニタリング調査に関する協定」を東京都との間で締結しています。これに関連して、今年度は東京都環境局の主催により「災害時アスベストばく露・飛散防止研修会」が開催され、東環協からは講師1名を派遣しました。また、協定に基づく「石綿モニタリングネットワーク機関」に対して研修会参加を呼び掛けたところ、当協議会から15社38名の参加がありました。

開催日時：2022年11月7日（月）9:30～12:00

開催場所：都庁及びオンライン（Zoom ウェビナー）

研修内容：(1) 災害時におけるアスベストの飛散防止マニュアルの解説

講師：東京都環境局

(2) 「災害時における被災建築物のアスベスト調査に関する協定書」事務手続きマニュアルについて

講師：東京都環境局

(3) アスベストの露出状況調査について

講師：(一社)建築物石綿含有建材調査者協会
副代表理事 外山 尚紀 氏

(4) 「災害時における石綿モニタリングに関する協定書」
手続きマニュアルについて

講師：東京都環境局

(5) 災害時の環境モニタリングについて

講師：(株)環境管理センター(東京都環境計量協議会 会員)
上席技師長 豊口 敏之 氏

以 上

[第2号議案] 2022年度 収支決算報告承認の件

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします

監査報告書

東京都環境計量協議会
会 長 平賀 積善 殿

私たちは、2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度における会計書類及び事業活動報告について詳細に監査した結果、適正であることを認めます。

2023年4月6日

東京都環境計量協議会

監事： 近野 良哉 

監事： 小柳 伸彦 

2023年度 事業計画（案）

1. 会議の開催

（1）総 会

2023年5月9日（火）、アルカディア市ヶ谷 4階『鳳凰』にて開催します。

（2）理事会

事業活動に関する計画立案及び結果報告等のため、全役員による理事会を年6回程度開催します。

（3）委員会会議

技術委員会、業務委員会の各委員会について、担当理事及び委員による会議を必要に応じて開催します。

2. 事業活動

（1）技術関係

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| ① 新任者教育セミナー | 6月（予定） |
| ② 研修見学会 | 未定 |
| ③ 環境測定技術事例発表会 | 11月（予定） |
| ④ 技術研修会 | 2024年1月（予定） |
| ⑤ 技術交流
（大環協・環境測定技術事例発表会への参加） | 9月（予定） |
| ⑥ 精度管理共同実験
（大環協・精度管理共同実験への参加呼び掛け） | 11月（予定） |

(2) 業務関係

- | | |
|-------------------|----------------|
| ① 会員名簿の発行 | 8 月（予定） |
| ② 新春賀詞交歓会 | 2024 年 1 月（予定） |
| ③ 首都圏その他の連絡会議への参加 | 随時参加 |
| ④ その他（各種親睦会等） | |
| ・ ゴルフ大会 | 未定 |
| ・ その他 | 未定 |

(3) 広報関係

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① 東環協ニュースの発行 | 年 3 回（予定） |
| ② ホームページの更新 | 原則、毎月 1 回 |
| ③ 都民計量のひろば行事 | 11 月 1 日（予定） |
| ④ 各種資料の配付、メールサービス | 随時実施 |

(4) 官公庁その他に対する協力

- | | |
|------------------------------|--|
| ① 東京都計量検定所が行う講習会等への協力 | |
| ② 東京都環境局が行う講習会、災害防止対策事業等への協力 | |
| ③ （一社）日本環境測定分析協会が行う行事等への協力 | |
| ④ その他 | |

以 上

[第4号議案] 2023年度 収支予算（案）審議の件

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします

2023年度役員体制について

今年度の役員体制は、次のとおり予定しています。

任期：2023年5月総会后～2024年5月総会まで

	役 職	氏 名	会社名	備考
1	会 長	平賀 積善	(株)環境管理センター	留任
2	副会長	五十嵐 鋼	(株)東京環境測定センター	//
3	副会長	木村 直樹	(一財)東海技術センター	//
4	理 事	竹田 良平	ヒロエンジニアリング(株)	//
5	理 事	池田 達也	(株)日本分析	//
6	理 事	石山 直樹	シグマジオテック(株)	//
7	理 事	織間 康行	ムラタ計測器サービス(株)東京支店	//
8	理 事	村野 光男	環境リサーチ(株)	//
9	理 事	笹嶋 宏	(株)分析センター	//
10	監 事	近野 良哉	いであ(株)	//
11	監 事	小柳 伸彦	(株)環境技術研究所	//

* 敬称略

東環協選挙管理委員会

東京都環境計量協議会 第46回通常総会 出席者名簿

2023年5月9日 16時30分より
於 アルカディア市ヶ谷 4階「鳳凰」

来賓 (一社)日本環境測定分析協会 副 会 長 清水 重雄 様
〃 〃 小野寺 明 様
〃 関 東 支 部 長 佐藤 隆 様

No.	会 社 名	出 席 者 名	備 考
1	いであ(株)		
2	(株)エオネックス		
5	(株)環境管理センター		
6	(株)環境技術研究所		
7	環境リサーチ(株)		
8	シグマジオテック(株)		
9	新日本環境調査(株)		
10	成友興業(株)		
11	(株)総合環境分析 東京技術センター		
12	ダイヤアクアソリューションズ(株)		
13	帝人エコ・サイエンス(株)		
14	(株)デイラボ		
15	(一財)東海技術センター		
17	(株)東京環境測定センター		
19	(株)日新環境調査センター		
20	(株)日本シーシーエル		
21	(株)日本総合科学		
22	日本物理探査(株)		
23	(株)日本分析		
24	ヒロエンジニアリング(株)		
26	(株)分析センター		
27	ムラタ計測器サービス(株)		
28	ユーロフィン日本環境(株)		
29	高圧ガス工業(株)		賛助
30	日本インスツルメンツ(株)		賛助
32	ビーエルテック(株)		賛助

※総会開始時点における出席者

来 賓 3 名
正会員 23 社 28 名
賛助会員 3 社 4 名
計 26 社 35 名

委任状(総会当日までに到着した分)

・(株)伊藤公害調査研究所 ・エヌエス環境(株) ・(株)オオスミ ・(株)化学分析コンサルタント ・
(株)環境技研(板橋) ・(株)環境技術センター ・(株)KANSO テクノス東京支店 ・(株)環境総
合リサーチ ・共和加工(株) ・クボタ環境エンジニアリング(株) ・(株)クレアテラ ・(一財)小林
理学研究所 ・(株)産業分析センター ・(株)サンコー環境調査センター ・三葉化工(株) ・(株)
四門 ・中央建鉄(株) ・(株)長大 東京支社 ・日本エコテック(株) ・日本環境アメニティ(株) ・
(株)ヤクルト本社中央研究所附属分析センター ・八千代エンジニアリング(株) 22 社

第 46 回通常総会後の懇親会報告

総会終了後の 17 時 30 分から、恒例の懇親会が同じくアルカディア市ヶ谷 5 階「大雪（西）」にて、正会員 23 社 39 名、賛助会員 4 社 7 名、来賓 5 名の方々にご出席いただき、盛大に開催されました。来賓には、東京都環境局 環境改善部長 戸井崎 正巳 様、同 大気保全課長 木立 真敏 様、(一社)日本環境測定分析協会 副会長 小野寺 明 様、同 副会長 清水 重雄 様、同 関東支部長 佐藤 隆 様をお迎えしました。

笹嶋理事の司会により進行し、冒頭に平賀会長の主催者挨拶、次いで来賓を代表して東京都環境局 戸井崎部長、日環協 小野寺副会長のお二方よりご祝辞をいただきました。喉も乾いてきたところで日環協 佐藤関東支部長による乾杯のご発声により懇親会が始まりました。



東環協 平賀会長による主催者挨拶



東京都環境局 戸井崎部長によるご祝辞



日環協 小野寺副会長によるご祝辞



日環協 佐藤関東支部長による乾杯のご発声

昨年度の総会後の懇親会は、コロナ禍の影響により着席形式で開催され料理もテーブル配膳でしたが、前日の 5 月 8 日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが 2 類相当から 5 類に移行されたこともあり、今年度の懇親会では立食形式で開催され、好きなものを食べて飲んで、会場中で参加者間の交流が活発に行われていました。

会場の皆さんのお腹も満たされ、お酒の酔いも程よく回ってきたところで、賛助会員の3社の皆様にも壇上に上がっていただき、会社や製品の紹介等を行っていただきました。また、任期半ばではありますが、諸事情により役員を退任された志知前理事から退任の挨拶をいただき、続いて新たに委員に就任されました大杉委員からの就任挨拶がありました。



日本インスツルメンツ(株)様



日本コントロールシステム(株)様



ビーエルテック(株)様



東環協 志知前理事による退任挨拶



東環協 大杉委員による就任挨拶

懇親会は久しぶりの立食形式だったこともあり大いに盛り上がりましたが、楽しい時間はあっという間に過ぎ、宴たけなわの中、石山理事による三本締めでお開きとなりました。



東環協 石山理事による中締め



平賀会長と来賓の皆様



《懇親会の風景 I》



《懇親会の風景 II》

東京都環境計量協議会第46回通常総会懇親会 出席者名簿

2023年5月9日 17時30分より
於 アルカディア市ヶ谷 5階「大雪（西）」

来賓	東京都環境局環境改善部	部 長	戸井崎 正巳 様
	東京都環境局環境改善部大気保全課	課 長	木立 真敏 様
	(一社)日本環境測定分析協会	副 会 長	清水 重雄 様
	〃	〃	小野寺 明 様
	〃	関東支部長	佐藤 隆 様

No.	会 社 名	出 席 者 名	備考
1	いであ(株)		
3	(株)エオネックス		
6	(株)環境管理センター		
8	(株)環境技術研究所		
9	環境リサーチ(株)		
10	シグマジオテック(株)		
11	新日本環境調査(株)		
14	成友興業(株)		
15	(株)総合環境分析 東京技術センター		
17	帝人エコ・サイエンス(株)		
19	(株)デイラボ		
20	(一財)東海技術センター		
22	(株)東京環境測定センター		
24	(株)日新環境調査センター		
25	日本エコテック(株)		
27	(株)日本シーシーエル		
28	(株)日本総合科学		
29	日本物理探査(株)		
30	(株)日本分析		
33	ヒロエンジニアリング(株)		
35	(株)分析センター		
36	ムラタ計測器サービス(株)		
39	ユーロフィン日本環境(株)		
40	高圧ガス工業(株)		賛助
41	日本インスツルメンツ(株)		賛助
43	日本コントロールシステム(株)		賛助
46	ビーエルテック(株)		賛助

来 賓		5 名
正会員	23 社	39 名
賛助会員	4 社	7 名
計	27 社	51 名

2023年度 新任者教育セミナー報告

『新任者教育セミナー』は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、過去3年間オンライン方式で開催してきましたが、今年度は会場参加とオンライン併用のハイブリッド方式を採用しました。本セミナーは、新任者の育成が業界の発展に欠かせないという観点から、毎年首都圏環協連（東環協、埼環協、神環協、千環協）が合同で、(一社)日本環境測定分析協会（以下「日環協」）との共催により開催しています。今回は、1都3県で110名の応募があり、東環協からは11社28名（会場参加18名、オンライン参加10名）と多くの方々にご参加いただきました。また、会場参加者に限られますが、久しぶりに修了証授与式とセミナー後の名刺交換会を開催することができました。

開催日時 : 2023年6月16日（金）10:00～17:30
開催場所 : (一社)日本環境測定分析協会 2F 会議室
東京都江戸川区東葛西 2-3-4
Tel 03-3878-2811 Fax 03-3878-2639
開催方法 : 会場参加及びオンライン（You Tube 配信、ZOOM 会議方式を併用）
参加費 : 会場参加 : 3,000 円（昼食、テキスト代を含む）
オンライン参加 : 1,000 円（テキスト代を含む）

プログラム :

- ・ 10:00 ～ 10:30 受付（ZOOM 入室状況確認等）
- ・ 10:30 ～ 10:45 開会挨拶
- ・ 10:45 ～ 12:00 講義1 「環境計量の仕事とは」 : 津上 昌平 氏
- ・ 12:00 ～ 12:50 昼 食
- ・ 12:50 ～ 14:00 講義2 「労働安全衛生」 : 菅原 昇 氏
- ・ 14:00 ～ 14:10 休 憩
- ・ 14:10 ～ 15:30 講義3 「精度良い測定のために」（サンプリングの基礎、
化学分析、機器分析） : 小池 満 氏
- ・ 15:30 ～ 15:40 休 憩
- ・ 15:40 ～ 16:40 講義4 「精度良い測定のために」（データの取扱いと
測定値の管理） : 村井 幸男 氏
- ・ 16:40 ～ 16:50 修了証授与
- ・ 16:50 ～ 17:30 名刺交換会、フリートーク



司会 千環協 野口副会長

開始時刻の 10:30 となり、千環協の野口副会長の司会により、今年度の新任者教育セミナーがハイブリッド方式でスタートしました。まずは、司会者より本セミナーが首都圏環協連の合同開催であり、日環協関東支部との共催による教育事業であることの報告がありました。続いて、会場参加者と ZOOM 聴講者のそれぞれに対して、注意事項等の説明がありました。

その後、主催者を代表して千環協の津上会長より開会の挨拶を頂戴した後、本日の最初の講義が始まりました。

千環協 津上会長の開会挨拶

皆さん、おはようございます。ご紹介いただきました千環協の会長を務めております津上と申します。開会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げたいと思います。先程、司会からのご案内ありましたとおり、本セミナーは首都圏環協連と日環協関東支部の共催でございます。首都圏環協連というのは、東京、埼玉、神奈川、千葉の 4 つの県単で組織されており、計量証明事業所として約 180 社の会員がおりまして、賛助会員を含めると 220 社ぐらいの会員構成となっています。

本セミナーは以前から欠かさず開催してきましたのですが、ご承知のとおりコロナ禍の影響もありまして 1 回は中止となり、その後は Web のみでの開催という時期もありました。今年は、久しぶりに皆様に会場に集まっていただき対面での開催となっております。本日は、こちらの会場に 60 名近くの方と Web 参加の方も 50 名ほど登録されているということで、沢山の方々にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

私は今年度の首都圏環協連の代表幹事を務めている千環協の会長をしておりますが、実はこの後、一コマ目の講義も担当させていただく予定です。そちらは JEMCA インストラクターという立場で「環境計量の仕事とは」というテーマでお話をさせていただきます。午後からは 3 名の講師の方がお見えになります。実は偶然ですが、講師のそれぞれが東京、埼玉、神奈川、千葉のご出身または現在お住いの方ですので皆さんとも何らかのつながりがあると思われます。講義の後には「名刺交換会」ということで情報交換の場も設けておりますので、ぜひ講師の方も含めて有意義な意見交換をしていただければと思っております。

皆様は既に講義資料をダウンロードされてお持ちになっていると思いますが、本日のセミナーの講義の内容は、かなり具沢山でございますので、1 日で全てを習得するのは難しいと思われます。何か 1 つでも覚えて帰っていただいて、今後の皆様の業務に役立ていただければ宜しいかと思っております。

それでは、本日は 1 日よろしくお願いいたします。

講義 1 (10:45 ～ 12:00)

「環境計量の仕事とは」

講 師 : 津上技術士事務所 津上 昌平 氏



講師 津上 昌平 氏

〔講義目次〕

1. 環境とは、環境問題の歴史的背景、環境関連トピックスなど
2. 環境関連法規制の概要と環境測定/分析との関わり
3. 計量法と事業登録制度、国際規格など
4. 環境関連資格取得のすすめ
5. まとめ

〔講義概要〕

最近の環境規制物質として「海洋プラスチック問題」が挙げられる。2021 年 6 月に「マイクロプラスチック (MPs) 調査ガイドライン」が環境省から公表され、今後は様々な調査が実施され MPs の実態が解明されていくと予想される。また、講義では環境関連資格取得のすすめとして環境計量士、作業環境測定士、公害防止管理者、臭気判定士、土壤汚染調査技術管理者、環境測定分析士についての受験資格や難易度などに加えて試験問題例が紹介された。

講義 2 (12:50 ～14:00)

「労働安全衛生」

講 師 : イー・サポート高円寺 菅原 昇 氏



講師 菅原 昇 氏

〔講義目次〕

1. 安全衛生
2. 測定業務における安全管理
3. 試験室の安全衛生管理
4. 災害の原因
5. 化学物質と労働安全衛生マネジメントシステム

〔講義概要〕

労働安全衛生には、労働者が出社してから帰宅するまでケガや事故に遭わないための知識が記されている。講義では、労働安全衛生に関して、受講者に特に意識していただきたい以下の 6 つの要点についての詳しい解説があった。

1. 潜在している危険因子を常に抽出し、事故発生に繋がる原因を排除しようとする雰囲気を職場全体で共有し活動すること (危険予知トレーニング (KYT) など)
2. 労働衛生管理に心がけ、職員一人一人が健康で明るい職場づくりをめざすこと
3. 業務の目的を明確にして、目的達成のために職場のシステム向上に取り組むこと
4. 自己管理を心がけ、常に肉体的にも精神的にも健全な状態でいられるように環境を整えて業務を遂行すること
5. 与えられた業務に対して、しっかりと教育・訓練を受けた上で業務に取り組むこと
6. 事故が発生した場合に、二次的な事故を誘発しないように組織的に対策を講ずること

講義 3 (14:10 ～ 15:30)

「精度良い測定のために」(サンプリングの基礎、化学分析、機器分析)

講 師 : 小池技術士事務所 小池 満 氏



講師 小池 満 氏

〔講義目次〕

1. サンプリング (正確な測定値を得るために)
2. 化学分析・機器分析 (「測る」と「判る」ために)

〔講義概要〕

環境計量において、サンプリングは極めて重要である。採取した試料が全体を代表していない場合、化学分析・機器分析を精確に行ったとしても測定した結果は本来の特性を示さなくなってしまうからである。また、機器分析は、装置に不具合があっても測定値が得られてしまう場合もある。得られた測定値が信頼できるものとするためにも分析者は分析装置の原理・構造を正しく理解する必要がある。講義では、サンプリングに係る規格やマニュアルと水質・大気質・固質のそれぞれで用いるサンプリング器具の使用法や特徴の紹介があり、続いて分析において参照すべき規格や分析機器の原理・構造の解説があった。

講義 4 (15:40 ～ 16:40)

「精度良い測定のために」(データの取扱いと測定値の管理)

講 師 : 村井技術士事務所 村井 幸男 氏



講師 村井 幸男 氏

〔講義目次〕

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 度数表とヒストグラム | 2. データの分布の数量的な表し方 |
| 3. 統計量と母集団の性状 | 4. 統計量の分布 |
| 5. 分析誤差 | 6. 測定値の管理 |
| 7. 精度管理 | 8. 外れ値の検定 |
| 9. 分析値の不確かさ | 10. 回帰と相関 |

〔講義概要〕

分析では、できるだけ注意して精密に操作しても毎回多少は異なった結果が得られる。すなわち、実験データは必ず誤差を伴うものであり、「系統誤差」と「偶然誤差」に大別される。

環境測定分析においては、測定結果を有効桁数で表す場合に JIS Z8401「数値の丸め方(規則 A)」に従い丸める。2 回以上の丸めは、誤差の原因となるので常に 1 段階で終了する。有効桁数とは「位取りを示すだけの 0 を除いた意味のある数字」であり、最終的に計算式中の有効桁数の最も小さいものに合わせて計算する。例えば「 $25.7444 + 13 = 38.7444$ 」の計算式の場合、左辺では「13」の方が精密でないので整数位に丸めることになり、右辺「38.7444」の小数点以下第 1 位を四捨五入し、答えは「39」となる。

講義では他にも、データの統計的処理方法や精度管理、分析値の不確かさなどについての詳しい解説があった。

環境計量の仕事とは
～環境分析業務と資格試験制度等について～



2023.06.16

日環協関東支部/首都圏環協連 共催
新任者教育セミナー

JEMCAインストラクター 津上昌平

日環協関東支部/首都圏環協連共催
新任者教育セミナー

労働安全衛生

2023.06.16 Fri.



JEMCAインストラクター

イー・サポート 高円寺
菅原 昇

令和5年度 新任者教育（首都圏合同開催）テキスト

1

サンプリングの基礎 化学分析・機器分析

令和5年6月16日
一般社団法人
日本環境測定分析協会
研修室

小池技術士事務所
小池 謙（技術士（環境部門））

首都圏-新任者教育セミナー

2023.06.16

精度良い測定のために 『データの取り扱いと測定値の管理』

新任者教育テキスト（旧版）を、令和5年度（2023年）版に更新（精度良い測定のために）『データの取り扱いと測定値の管理』

一般社団法人 日本環境測定分析協会

JEMCAインストラクター
村井幸男



閉会及び修了証授与式（16:40 ～ 16:50）

講義終了後、日環協の大角関東支部長から閉会の挨拶がありました。続いて、県単ごとに分かれて修了証授与式が執り行われました。

日環協 大角関東支部長の閉会挨拶



日環協 大角関東支部長

皆さん、1日お疲れ様でした。日環協関東支部の支部長を仰せつかっております大角と申します。同時に日環協本部の副会長も拝命しております。今日の研修会で新しい知識を得るなど色々と勉強になったと思われますが、私の方から皆さんに3つだけお伝えしたいことがあります。

1つ目は、今日勉強して得た知識を留めておいて、この業界を盛り立てていただきたいと思っております。日環協も会員数が少しずつ減少してきているのが現状としてありますが、むしろ私は、この環境という分野はこれからの業界だと思っております。それには、ただ単に分析をする、調査をするといったことだけではなく、我々や特に皆さんのような若い人たちが中心となって新しいもの、新しい環境を取り入れてこの分野・業界を盛り立ててほしいと思います。2つ目は、皆さんが今日勉強したことを軸としながら新たなジャンルを生み出してほしいと思います。例えば、今日はマイクロプラスチックの話などもありました。また、サンゴ礁の白化現象もあり、現在の地球環境は大変厳しい状況にあります。これらの問題解決を世界中のどこかの業界の誰かが取り組むこととなります。そのような中で、日環協のメンバーで環境分析に携わっている人たち、すなわち見えないものを数値化することを生業としている人たちが新しい分野に挑戦して解決の糸口を探していただけたら幸いですし、皆さんの将来の仕事にもつながると思います。最後に3つ目ですが、この業界で働くすべての人たちが幸せになれる未来を創造できるような業界にしていきたいと思います。色々な業界がありますが、是非、環境分析の業界を盛り立てて、地球環境のために皆さんの力を役立てていただきたいということを私のご挨拶と代えさせていただきます。

今日は、長い時間本当にお疲れ様でした。



修了証授与式 I



修了証授与式 II

名刺交換会、フリートーク（16:50 ～ 17:30）

修了証授与式の後、会場にテーブルを設営して名刺交換会を行いました。入社間もない参加者にとっては貴重な名刺交換の機会であり、参加者間での活発なディスカッションが行われていました。また、講義での質問時間も限られていたため、名刺交換会では講師の方に積極的に質問する参加者の姿も見受けられました。予想以上に盛り上がった名刺交換会の時間もあっという間に過ぎ、埼環協 佐藤副会長の三本締めでお開きとなりました。



乾杯 東環協 木村副会長



名刺交換会 I



名刺交換会 II



名刺交換会 III



名刺交換会 IV



三本締め 埼環協 佐藤副会長

受講者アンケート集計結果

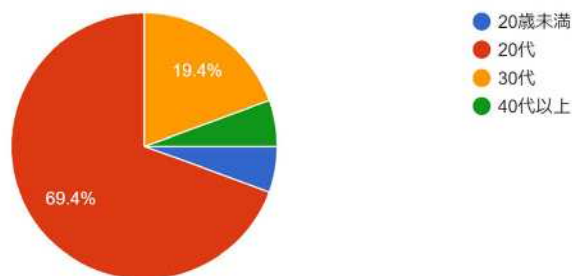
新任者教育セミナー終了後の Web アンケートでは、36 名の受講者から回答を送っていただきました。参加者の年齢は「20 代」が最も多く、担当業務では「水質、土壌関係の分析」が半数以上を占める結果となりました。また、講義内容についての設問では、講義 1～3 で 85%以上の参加者が「大変理解できた」または「理解できた」と回答していました。また、講義 4 では「統計を学んだことがなかったのでデータの取扱いと測定値の管理の講義は難しかった」といった声が聞かれました。

皆様、ご協力ありがとうございました。アンケート結果は今後の新任者教育セミナー運営の参考にさせていただきます。

1. あなたについて教えてください。

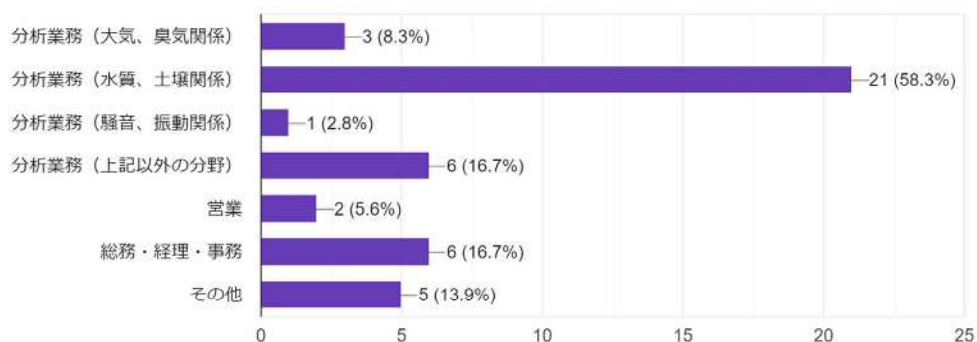
1 - 1. 年齢をお教えてください。

36 件の回答



1 - 2. 現在の主な担当業務をお教えてください。（複数回答あり）

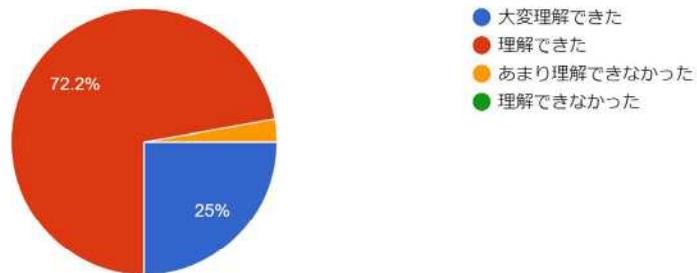
36 件の回答



2. 講義について

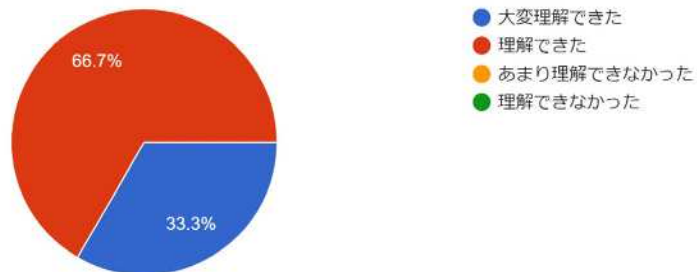
2－1. 講義1「環境計量の仕事とは」の講義内容について

36 件の回答



2－2. 講義2「労働安全衛生について」の講義内容について

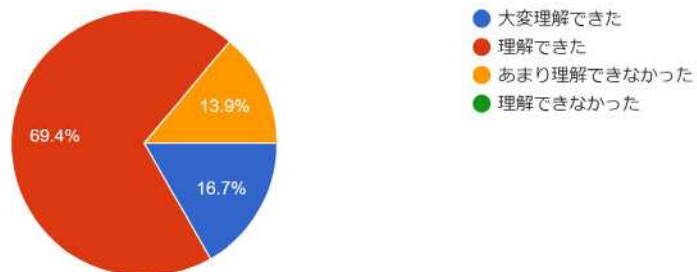
36 件の回答



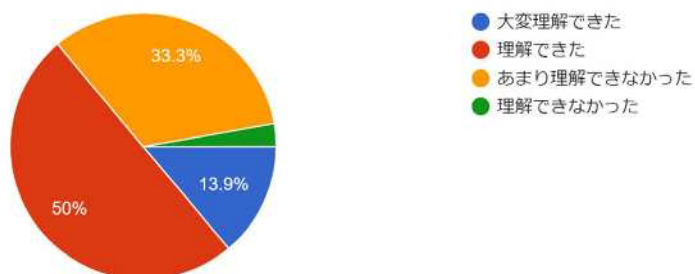
2－3. 講義3

「精度良い測定のために(サンプリングの基礎、化学分析、機器分析)」の講義内容について

36 件の回答

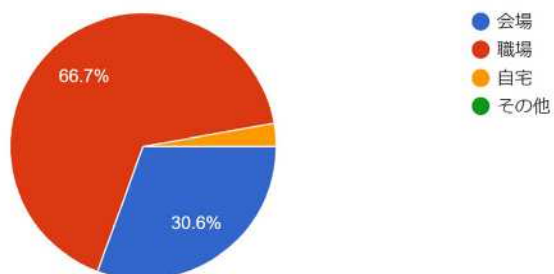


2－4．講義4「精度良い測定のために(データの取扱いと測定値の管理)」の講義内容について
36件の回答



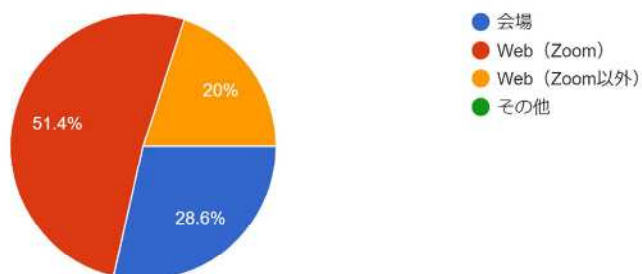
3．聴講場所について

3．講義はどこで参加されましたか？
36件の回答



4．聴講方法について

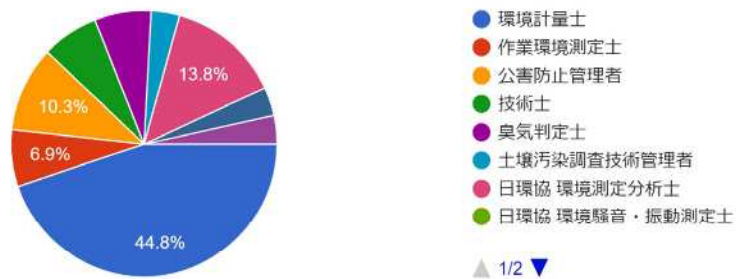
4．今後の講義や研修はどのような形式で参加されますか？
35件の回答



6. 資格取得の希望について

5. 将来的に下記の資格を取得する予定はありますか？

29 件の回答



- 環境計量士 44.8%
- 作業環境測定士 6.9%
- 公害防止管理者 10.3%
- 技術士 6.9%
- 臭気判定士 6.9%
- 土壤汚染調査技術管理者 3.4%
- 日環協 環境測定分析士 13.8%
- （石綿）分析調査者 「アスベスト偏光顕微鏡実技研修（建材定性分析エキスパートコース）等」 3.4%
- その他 3.4%（1 人）

その他と回答した方は詳細を教えてください。

1 件の回答

- 社内 SE なので分析に関わる資格を取る予定はありません

2023 年度 新任者教育セミナー 参加者名簿

2023 年 6 月 16 日

東京都環境計量協議会 ハイブリッド方式開催

講 師	「環境計量の仕事とは」	津上 昌平 氏
	「労働安全衛生」	菅原 昇 氏
	「精度良い測定のために」	小池 満 氏
	〃	村井 幸男 氏

会 員

No.	会 社 名	氏 名	参加方法
1	いであ(株)		ZOOM
2	(株)環境技術研究所		会場参加
3	(株)環境技術研究所		ZOOM
4	(株)環境技術センター		ZOOM
5	(株)環境技術センター		会場参加
6	(株)環境管理センター		会場参加
7	(株)環境管理センター		会場参加
8	(株)環境管理センター		会場参加
9	(株)環境管理センター		会場参加
10	(株)環境管理センター		会場参加
11	(株)環境管理センター		会場参加
12	(株)環境管理センター		会場参加
13	(株)環境管理センター		会場参加
14	(株)環境管理センター		会場参加
15	帝人エコ・サイエンス(株)		会場参加
16	帝人エコ・サイエンス(株)		ZOOM
17	帝人エコ・サイエンス(株)		ZOOM
18	帝人エコ・サイエンス(株)		ZOOM
19	(株)サンコー環境調査センター		ZOOM
20	成友興業(株)		ZOOM
21	(一財)東海技術センター		ZOOM
22	ヒロエンジニアリング(株)		ZOOM
23	(株)分析センター		会場参加
24	(株)分析センター		会場参加
25	(株)分析センター		会場参加
26	ユーロフィン日本環境(株)		会場参加
27	ユーロフィン日本環境(株)		会場参加
28	ユーロフィン日本環境(株)		会場参加

総参加者 11 社 28 名 (会場参加 18 名 ZOOM 10 名 YouTube 0 名)

2023 年度 役員の役割分担

2023 年度は、役員・委員が次のとおりの役割分担で事業を進めて参ります。何とぞ宜しくお願いいたします。

	平賀	五十嵐	木村	竹田	池田	石山	笹嶋	織間	村野	近野	小柳	事務局
役員会議事録					○		◎	○			○	
ホームページ管理		○			○		○		◎	○		
資料作成管理		○	○									○
会員名簿管理												◎
首都圏連絡委員会	◎	○	○							○	○	○
東環協ニュース		(○)			◎			○	○			
官庁関係挨拶等	◎	○	○									
新任者教育セミナー	○	○	○		○					◎		○
研修見学会		○				○					◎	
大環協事例発表会	◎	○	○									
技術研修会	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事例発表会	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都民計量のひろば			○		○	○	○	◎	○			
親睦会(ゴルフ)						◎						
親睦会(その他)	○	◎	○			○		○				
賀詞交歓会	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総会	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会計監査	○	○	○							○	○	◎
石綿モニタリング	◎	○	○				○		○			
役員会招集	◎	○	○									○

委員会	安藤	中村	大杉
技術委員会	○		
広報委員会			○
業務委員会		○	

◎主担当

○担当

関係機関・団体の動き

2023 年 8 月現在で、既に実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです。

○ 首都圏環境計量協議会連絡会

- | | | |
|---------------------|-----------|----------------|
| ・第 1 回首都圏環境計量協議会連絡会 | 6 月 14 日 | (株)太平洋コンサルタント |
| ・首都圏合同・新任者教育セミナー | 6 月 16 日 | 日環協本部及び Web 開催 |
| ・第 2 回首都圏環境計量協議会連絡会 | 8 月 8 日 | (株)太平洋コンサルタント |
| ・第 3 回首都圏環境計量協議会連絡会 | 12 月 12 日 | (株)太平洋コンサルタント |

○ (一社)神奈川県環境計量協議会

- | | | |
|----------|-----------|----------------|
| ・通常総会 | 5 月 24 日 | L プラザ及び Web 開催 |
| ・親睦ゴルフ大会 | 7 月 28 日 | 小田原湯本カントリークラブ |
| ・親睦地曳綱大会 | 10 月 14 日 | |

○ (一社)埼玉県環境計量協議会

- | | | |
|-----------|----------|-------------------------|
| ・通常総会 | 5 月 26 日 | (一社)埼玉県環境検査研究協会 |
| ・東京湾環境調査 | 8 月 9 日 | |
| ・県民計量のひろば | 11 月 1 日 | JR 大宮駅西口 DOM ショッピングセンター |

○ 千葉県環境計量協会

- | | | |
|-------------|----------|-------------------|
| ・通常総会 | 4 月 21 日 | ホテル菜の花及び Web 開催 |
| ・第 44 回共同実験 | 9 月 | COD _{Mn} |
| ・ソフトボール大会 | 10 月 | |
| ・技術事例発表会 | 11 月 | |

○ (一社)日本環境測定分析協会

- | | | |
|----------------------|--------------|--------------------------|
| ・通常社員総会 | 5 月 30 日 | タワーホール船堀 |
| ・環境セミナー全国大会 in ふじのくに | 10 月 19・20 日 | 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ |
| ・経営セミナー全国大会 in 徳島 | 11 月 10 日 | JR ホテルクレメント徳島 |

東環協からのお知らせ

○ 2023 年度これからの主要行事予定

- | | |
|--------------|-------------------|
| ・研修見学会 | 9 月 22 日(金) |
| ・都民計量のひろば | 11 月 1 日(水)に開催予定 |
| ・環境測定技術事例発表会 | 11 月 15 日(水)に開催予定 |
| ・技術研修会 | 2024 年 1 月に開催予定 |
| ・賀詞交歓会 | 2024 年 1 月に開催予定 |

○ 事務局からのお知らせ

・ 現在の会員数 (2023 年 7 月末現在)

正 会 員	58 社		
賛助会員	19 社	合 計	77 社

○ 編集後記

「東環協ニュース」第 182 号が無事に完成しましたので皆様にお届けいたします。
今回のニュースは、5 月 9 日の「第 46 回通常総会」と 6 月 16 日にハイブリッド方式で
開催した「新任者教育セミナー」を中心に編集しました。11 月には当協議会の主要な
行事となります「環境測定技術事例発表会」を盛大に開催する予定ですので、奮って
ご参加ください。

今後も会員の皆様に興味を持って頂ける企画・運営を心掛けて参りますのでご支援
の程、宜しく願い申し上げます。

PFAS分析に最適な超純水が 装置から直接採水できます

- 今お使いの超純水装置では PFOS や PFOA が
検出されてしまってブランク水に使用できない
- PFOS/PFOAフリー超純水を購入して
使うのはコストがかかるし、面倒だ

…こんなことでお困りの分析者の方へ

エルガ・ラボウォーターの
PURELAB Chorus 1
Analytical Research なら
そのまま使えます



超純水中の PFOS、PFOA、PFHxS の分析例

PURELAB Chorus 1 水

PFOS	< DL (0.02 ng/L)
PFOA	< DL (0.02 ng/L)
PFHxS	< DL (0.02 ng/L)

試験方法：

PFOS、PFOA：令和2年環水大発第2005281号 / 環水大土発第2005282号
付表1 固相抽出 LC-MS/MS 法

PFHxS：令和2年環水大発第2005281号付表1 準用

エルガ超純水装置は採水口フィルターからの
コンタミの心配がありません



より詳細な情報をご希望の方は下記までお問い合わせください

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 エルガ・ラボウォーター事業部

お問い合わせ 〒108-0022 東京都港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー

e-mail : jp.elga.all.groups@veolia.com <http://www.elgalabwater.com>

ELGA は Veolia Water の実験室用水の国際ブランド名です。PURELAB は ELGA LabWater の商標および技術です。【禁無断転載・複写】

LC/MS用溶媒

New

PFOS・PFOAの 保証を追加!!

- / 金属不純物(13種)を保証*
- / 日本薬局方の試薬規格に適合
- / 従来の保証内容を踏襲
UHPLCシステムに最適



品目	容量	日本薬局方 適合	金属(13種) 保証	PFOS・PFOA 試験適合性
アセトニトリル	200mL、1L、3L	○	○	○
蒸留水	200mL、1L、3L		○	○
メタノール	200mL、1L、3L	○	○	○
2-プロパノール	200mL、1L、3L	○		

*金属(13種) : Ba, Ca, Cd, Co, Cr, Cu, Fe, K, Mg, Mn, Ni, Pb, Zn

LC/MS 関東

検索



関連
商品

認証標準物質
(CRM)

製品番号	メーカーコード	製品名	容量
49922-34	PFAS-3PAR	有機ふっ素化合物混合標準液(3種) (L-PFOS, PFOA, L-PFHxS each 2ug/mL)	1.2mL
49922-35	MPFAS-3ES	有機ふっ素化合物混合内部標準液(3種) (M8PFOS, M8PFOA, M3PFHxS each 2ug/mL)	1.2mL



関東化学株式会社

試薬事業本部 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 (03)6214-1090

高圧ガス工業の標準ガス

高圧ガス工業は環境測定のお手伝いに徹し貢献していきます
標準ガスは、様々な用途で使用されています。大気測定から煙筒、排気ガス、医療現場と幅広いユーザー様に支持を受けています

Standard Gas

◆ラインナップ

- ・ JCSS標準ガス 1級、2級、零位
- ・ 一般標準ガス
- ・ 医療機器校正用標準ガス

◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類 : 3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金 : W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力 : 14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ



High Purity Gas

◆ラインナップ

- ・ 高純度アルゴン UP1 99.9999 % UP3 99.999 %
- ・ 高純度窒素 UP1 99.99995 % UP3 99.9995 %
- ・ 高純度水素 UP1 99.99999 % UP2 99.9999 %

◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類 : 3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金 : W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力 : 14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ

Pressure Regulator

◆特長

- ・ 理化学機器に特化した、高品位の圧力調整器で、ガスを安定した圧力と流量で供給できるよう設計されています

◆スペック

- ・ HP-1 : 1段減圧 供給圧 0-0.9 MPa
- ・ HP-2 : 2段減圧 供給圧 0-0.9 MPa
- ・ Bs/ステンレス製



高圧ガス工業株式会社

ガス開発部 特殊ガス課

<http://www.koatsugas.co.jp>

東京事務所 東京都千代田区内幸町1丁目2番1号 日土地内幸町ビル9階 TEL 03-3595-3122
滋賀高圧ガス流通センター 滋賀県東近江市五個荘川並368番地 TEL 0748-48-5933



お客様各位

平素はエルメックス商品をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

ELMEX Post は、微生物検査ご担当者様宛に、弊社商品の発売や仕様変更、セミナー・学会・展示会、その他関連する情報を提供する目的で発信しています。本紙が適切でない部署に配信されている場合は、適切な部署へ転送下さいます様よろしくお願い申し上げます。

◆◆◆ 水質汚濁に係る環境基準が変更されます ◆◆◆

大腸菌群検査から特定酵素基質寒天培地による大腸菌検査へ

環境基本法第16条第1項「水質汚濁に係る環境基準について」の一部改正

令和3年3月の「水質汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準の見直しについて(第2次報告案)」を受け、生活環境項目環境基準において、よりふん便汚染の指標性が高い大腸菌数を新たな衛生微生物指標とし、大腸菌数の測定には特定酵素基質寒天培地による検査法が適当とされました。特定酵素基質 5-プロモ-4-クロロ-3-インドリル-β-D-グルクロニド(X-GLUC)を含む、当社のアガートリコロールが大腸菌数検査に使用できます。

〈検査方法〉

- ①滅菌した密閉できる容器に採水
- ②メンブランフィルターで検水を吸引ろ過
- ③ろ過したメンブランフィルターをアガートリコロール培地に密着させ、倒置し培養
- ④培養後青色のコロニーを数える

〈大腸菌数の環境基準〉(予定)

水道1級	100CFU/100mL
水道2級	300CFU/100mL
水道3級	1000CFU/100mL
水浴(プール等)	300CFU/100mL
自然環境保全 人為的なふん便汚染が極めて少ないと考えられる地点 および自然公園等に指定されている海域の河川・湖沼	20CFU/100mL

環境省から上記命令等の適用は、令和4年4月1日の予定です。

Pro-media アガー

トリコロール

大腸菌群・E.coli 同時検査用

ラウリル硫酸 Magenta-GAL・X-GLUC 寒天培地

透明な培地の上に E.coli は青く、大腸菌群は赤く発色。判定が簡単にできます。



〈使用方法〉

1袋(7.85g)を200mLの精製水、または39.3gを1000mLの精製水に加え、加温溶解するか、オートクレーブ滅菌を行う。

(加温溶解した培地は当日中にご使用ください)

品名	Pro-media アガートリコロール(顆粒)	
コードNo.	XMA-01N	XMA-400
入数	7.85g/袋×40	400g/ボトル
価格(税別送料込)	¥17,000	¥21,300

----- カタログ・サンプル 要求書 ----- Fax: 03-3831-9829 -----

送付先をご記入ください		お気軽にお問合せください アガートリコロール ☐ カタログ希望 ☐ サンプル希望
御社名	e-mail	
〒 ご住所	都道府県	
ご担当者名	TEL	
ユーザー様名		エルメックス商品仕入れ先(業者名) 東京科研

高速イオンクロマトグラフ

IC-8100



ION CHROMATOGRAPH

IC-8100

先進のセパレーションテクノロジーを継承、
さらに進化したニューコンセプトIC…
ますますの快適さと信頼性をお届けします。

高速多検体

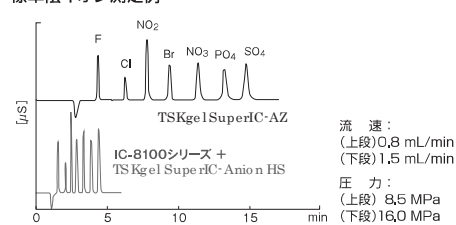
測定時間5分のハイスループット分析を実現

高速分離カラムとの組み合わせで、陰イオン・陽イオンの測定がそれぞれ5分で終了。測定時間を大幅に短縮できます。

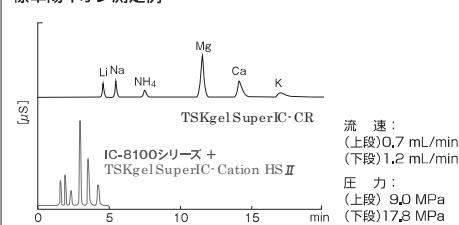
陰イオン測定時間16分から 5分へ短縮(当社比)

陽イオン測定時間20分から 5分へ短縮(当社比)

標準陰イオン測定例



標準陽イオン測定例

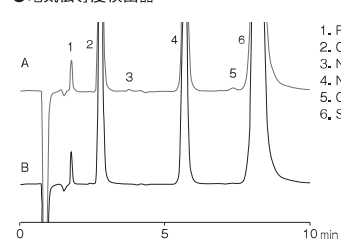


測定時間10分で臭素酸を含む水道水質基準項目の分析を実現

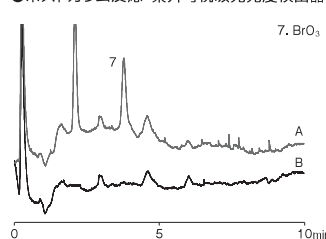
水道水質分析用の高速高分離カラムと、高感度ポストカラム反応システムを用いる事で、臭素酸を含む水道水質基準項目が10分以内で測定できます。従来、複数の条件で行なわれていた分析を一度の測定で行うことが可能です。

臭素酸を含む水道水質基準項目の一斉分析

●電気伝導度検出器



●ポストカラム反応・紫外可視吸光度検出器



IC-8100シリーズ +
TSKgel SuperIC-WA

[試料]

A: 水道水(臭素酸イオン(0.001 mg/L)、
亜硝酸イオン(NO₂-N)として0.004 mg/L)、
塩素酸イオン(0.06 mg/L)をそれぞれの濃度
になるよう添加、さらにエチレンジアミン溶液
(50 mg/L)を1 mL/Lの割合で添加)
B: 水道水(添加無)

[検出]

電気伝導度検出器とポストカラム反応
- 紫外可視吸光度検出器(268 nm)
を直列に接続して同時検出

※ "IC-8100" は日本における東ソー株式会社の登録ロゴです。



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

東京本社営業部 ☎(03)5427-5180 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2
大阪支店 バイオサイエンスG ☎(06)6209-1948 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-4-9
名古屋支店 バイオサイエンスG ☎(052)211-5730 〒460-0008 名古屋市中区栄1-2-7
福岡支店 ☎(092)781-0481 〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2
仙台支店 ☎(022)266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1
カスタマーサポートセンター ☎(0467)76-5384 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743-1
バイオサイエンス事業部ホームページ <https://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

M2108GDA

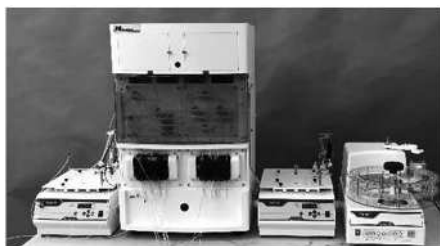
ビーエルテックの自動化学分析装置



新型オートアナライザー 「MiSSion」

ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 原理は、気泡分節型連続流れ分析法（CFA）で計量証明機関で多くの実績があります。
- 3 ふっ素、シアン、フェノール類の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 全窒素全りんのオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、オートスタート機能、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102、環境省告示対応メソッドです。 1時間20検体測定ができます。



MiSSion-ふっ素シアン



MiSSion-全窒素全りん

全自動酸化分解前処理装置 DEENAシリーズ

特長

1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます（オプション）
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60

(50mlバイアル 60本掛け)

連続流れ分析法（CFA法）を用いた、酸添加加熱分解装置AATM（アトム）

特長

1. 液体サンプルは、酸と混合、加熱しICP-MSへそのまま導入され測定されます。
2. 気泡分節のCFA法を利用した装置です。
3. 土壌汚染関連、排水、飲料水など全自動で測定できます。



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル 2F
TEL : 06-6445-2332 FAX : 06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビル4F
TEL:03-5847-0252 FAX : 03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101
TEL:0940-52-7770 ※FAXは本社へ

測定精度の向上
人的エラーの解消
前処理時間の短縮
自動化、省力化・・・

全て解決！

メトローム イオンクロマトグラフ



930 IC 本体



858 サンプルプロセッサ
+ 800 ドジーノ (電動ビュレット)



ろ過デバイス
限外ろ過



透析デバイス
ダイアリシス



中和・除去デバイス
中和 / 金属除去



濃縮・除去デバイス
濃縮 / カラムスイッチング
/ マトリックス除去



940 IC 本体



942 拡張モジュール

メトローム 自動前処理システム Metrohm Inline Sample Preparation (MISP) は、手作業でおこなっていたイオンクロマトグラフのサンプル前処理を完全自動化できます。

MISP は、メトローム開発したイオン分析のための自動前処理手法です。マトリックスの除去、濃縮、希釈、pH 調整、中和等の作業と時間のかかる作業を完全自動化します。前処理工程を改善するとともに、分析精度の向上にも有効です。

イオンクロマトグラフィの原理からトラブルまでご隠居さん達が楽しく解説する大人気コラム「ご隠居達のIC四方山話(よもやまばなし)」。ウェブサイトに掲載中！

IC 四方山話



デモやサンプルテストもお気軽にお問い合わせください。
e-mailでのお問い合わせ: metrohm.jp@metrohm.jp

本社 〒143-0006 東京都大田区平和島 6-1-1 東京流通センター アネックス 9 階 TEL: 03-4571-1744 (IC 部) FAX: 03-3766-2080
大阪支店 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町 3-1-9 淡路町ダイビル 5 階 502C TEL: 050-5050-9600 FAX: 06-6232-2312
URL <https://www.metrohm.jp>